



岡本かの子全集

第十四卷

TARO

岡本かの子全集 第十四卷

昭和五二年五月一五日初版第一刷發行

著者 岡本かの子

發行者 高橋直良

發行所 多樹社

東京都千代田區神田神保町二一一八

電話東京二六四一〇三四六

振替東京七七五七

印刷所 株式會社太洋社

製本所 有限會社三和製本所

製函所 株式會社光陽紙器製作所

本文用紙抄造 王子製紙春日井工場

表紙用クロス 日本クロス株式會社

裝畫 岡本太郎

裝幀 柄折久美子

第十四卷 目次

隨筆拾遺 I	
昔の友へ	三
島崎藤村先生の「犠牲」を見て	四
病衣を脱ぎて	六
詩 傷つける實	一〇
同性の觀たる賣笑婦	一一
夏向きの涼しいお料理競べ	一三
中村星湖氏の印象	一三
若し婦人が政治に參加することが出來たら	一五

最も樂しかつた・悲しかつた幼時の思ひ出	一六
藤村氏の女性描寫	一六
私の處女時代	一元
私の望む男子	一元
公娼私娼に對する四十三婦人の回答	一元
最近感心した作品、最近注目する新人	一〇
岡本一平論 親の前で祈禱	一〇
詩 運命	二元
婦人の老けて見える諸原因	一元
詩 山茶花	一元
私の日記	一〇
三月の日記より	三元
奥さん達の博覽會見物	一元
似而非人道主義の文學者	四元

婦人に讀ませたい書物..... 呪

私が女に生れたら？ 私が男に生れたら？..... 呪

私の好きな夏の女の衣裳..... 呪

わが家の趣味生活..... 三 嘘

處女時代の追憶..... 一 嘘

今夏の芥川氏..... 二 嘘

隨筆拾遺 II

あの正月..... 空

私の家庭の幸福は女から生れる..... 空

夕富士..... 空

病房にたわむ花..... 茵

日記 梅花の頃..... 茵

或る初夏の思出..... 茵

萩子とアンナ..... 茵

妻	六
現代男子の服裝に就て	六
お正月の思ひ出	九
歌舞伎座女形略評	九
中條百合子論	四
憶ひ出の美少年と美少女	九
わが樂園豫想	一〇一
久米正雄略描	一〇三
新時代女性問答	一〇九
初冬漫感	一一一
現歌壇に對する感想	一一五
戀愛といふもの	一六
我家のサロンは社交道場	一九
若槻内閣最初の一日	二三

河庄について	二六
夫婦相互印象記	二九
翠子さん今昔	三一
考察數種	三四
感想五つ	三四
夏の女と薄もの	三九
はづかしかつた話	四〇
選評	四一
山本安英さんの印象	四三
初秋夜話	四五
隨筆拾遺 III	四五
おかちゃんの味	一四九
ある年の正月	一五〇
此頃のことば	一五〇

現在短歌は餘りに古典なりや…………… [五]

おらが春…………… [五]

詩途上散見の男…………… [五]

ある男の死…………… [五]

感想書簡…………… [五]

主人の好む我家の料理…………… [六]

問題の怪寫眞を見た刹那の感想…………… [七]

暴風がひよこを…………… [七]

或る男の戀文書式…………… [七]

女の藝術家生活について…………… [七]

二羽の鶴…………… [八]

山戀ひし、海戀ひし…………… [八]

紅耀記…………… [八]

文藝時評 雜感…………… [八]

惡役と武士	一一五
芥川さん略描	一九
秋のロマンス	一七三
感傷の秋なりし	一七七
狹き門のアリサ	一九六
モダンボーイ二三種	二〇〇
不如歸についての概感	二〇一
古泉さんの印象	二〇三
子供のお辨當	二〇四
私のいたづら書き	二〇五
歌人の超然的態度の可否	二〇六
魚のすき焼	二〇七
個性の光	二〇八
鍋とかけ汁三種	二〇九

吉植庄亮氏歌集「菅原」心讀評抄	一一〇
新井禪師より頂きし感銘	一一一
自然の味	一一二
鷹治郎の「藤十郎の戀」	一一三
映畫「マノン・レスコオ」を觀る	一一四
岩谷様の事ども	一一五
若手俳優のこと	一一六
西洋松茸の一平ライスを	一一七
劇場隨筆	一一八
初戀といふ題を受けて	一一九
村居の頃	一二〇
秋雨の追憶	一二一
牧水さん	一二二
逝ける小山内薰氏を憶ふ	一二三

男心とはかうしたもの……………[四〇]

わが家の家寶……………[四一]

家庭愛増進術……………[四二]

つぶやく筆……………[四三]

寫眞下の感想……………[四四]

智慧に埋れて……………[四五]

レヴュー是か非か……………[五五]

家庭風なお惣菜で……………[五六]

まことの笑ひ……………[五六]

歌人日記……………[五七]

著者に贈る言葉……………[五八]

クリスマス漫観……………[五六]

年譜……………[五六]

説明しにくい顔 [E]

わくらんば [E]

生一本だつた母の思ひ出 [E]

旅で嬉しかつた話、困つた話 [E]

真夏の夜を涼しく眠る法 [E]

忘れられぬ母の言葉 [E]

年頃の娘さんは何處へ一番眼をつけられるか [E]

紺紗子姫を謂ふ [E]

世界からなくしたいもの [E]

日本服は室内だけ [E]

愛 よ 愛 [E]

童顔のおかあさま [E]

北原氏の顔の画をみつめて [E]

私が男であつたら [E]

近代精神界の現象 [六]

『女人哀樂』と吉屋さんを褒める [五]

私の愛聽するレコード [五]

金で好意を買ぬ [五]

雄辯世界行脚 [五]

良人教育十四種 [五]

エネルギッシュな仕事がしたい [五]

私の銀座のスケジュウル [五]

名士家庭療法祕訣 [五]

おせつかい夫人 [五]

岡本かの子女史と語る [五]

前月歌壇作品合評 [五]

すつきりした歌人好みのライスカレー [三]

アベック銀プラ買物記 [四]

童話 山のコドモ	三七
岡本一平の逸話	三九
新興佛教	三一
現代病根	三三
私の羨やましいと思つた夫婦	三四
三大寺の管長・貫主を訪ぶ	三四
「阿難と呪術師の娘」の解説	四五
宗教劇 阿難と呪術師の娘	四〇
私の作について	四一
宗教劇の不可解所とは	四五
隨筆拾遺 V	五五
梅・肉體・梅	五六
小學兒童の受験準備是非	五六
百貨店の賣子	五五

栗山泰音禪師の人としての印象……………^{三七}

夫子と共に油繪を……………^{三七}

我観……………^{三七}

名家一言集……………^{三七}

岡本かの子先生をお訪ねして……………^{三七}

洋館……………^{三六}

梅雨期の衣服……………^{三六}

私の好きなあの山この川……………^{三六}

スケーター・ソニヤ嬢……………^{三六}

新選昭和イソップ 気の毒な奥様……………^{三六}

こんなことをするとお里が知れる……………^{三六}

「日本婦道講義」評……………^{三五}

白銀色の光り……………^{三五}

名月……………^{三五}

お師匠さんの風車を偲びて	三七
白木蓮の歌	三八
近代女性の好み	三九
晩秋の嵯峨野	三九
晩秋のオツクスフオード	三一
交通事故	三四
暮景氣	五六
モダンいろは歌留多	五六
新文化と古典	五六
私の愛誦する金言名句	五六
桃の節句	五〇
兄妹	五〇
雰囲気を捉へること	五二
僕の警句	五六